



中野 晴啓からのメッセージ

新NISAスタートを契機に資産形成へと投資を始める人は激増しましたが、現状一気に高値圏まで上昇した世界の株式市場の調整を受けて、既に足元の市場下落で投資を止める動きが目につきます。此の先下げ相場が本格化したならば、更に多くの投資脱落者が続出することになるでしょうが、大きな要因としてブームと化したインデックスファンドがコモディティ化して、単なる記号としての価格動向しか見ない人たちが、投資の本質的理解を欠落させているからでありましょう。

私たち本格的長期投資家にとって、何より大事なのは投資対象へのこだわりであり、自らのお金で素敵な事業を支え、より良い将来社会を実現しようとの意思表示こそが投資行動の原点だということです。

なかの号は投資する企業への愛情を、そして営む事業へのリスペクトを持って、とことん長期保有を旨として対話を重ねて行きます。

骨太長期投資の肝要は、短期的には事業の本源的価値は変わらないはずで、然るに足元の値動きはノイズ(雑音)に過ぎないと、将来の事業価値増大に資する長期資本を忍耐強く提供して行く心持ちです。ゆったりのんびり気分と一緒に進んで参りましょう！

なかのアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 中野 晴啓

ポートフォリオマネージャー居林 通より

なかの世界成長ファンド
ポートフォリオマネージャー
居林 通

運用3ヶ月目の「なかの世界成長ファンド」ですが、7月の運用成績はマイナスを記録しました。世界的な優良株が利益確定の売りに押される展開となったためです。これは、トランプ氏がドル安を志向していることによって、それまで世界中から米国に流入してきた投資資金が止まったためと考えています。

同時に、これまでのAI技術に対する期待値がやや高すぎたことも最近の株価下落に影響していると思います。当ファンドは、いわゆるGAFAM銘柄のウエイトが低く、世界各地の競争力のある企業を中心にポートフォリオが構成されています。強い競争力と高い成長性を併せ持つ「クオリティグロース」銘柄は、短期的なマイナス局面はあるものの困難な時期を乗り越えさらに強くなると考えています。

一時、対ドルで160円を超える円安トレンドも、足元では150円前後の円高方向に振れています。円はここ2年で大幅に円安になったので、こうした調整局面も大きな驚きではありません。しかし、日本の貿易収支の赤字や日米の金利差が残り続けることを考えると構造的な円安トレンドは残るのではないかと考えます。引き続き「なかの世界成長ファンド」は世界各地での経済成長と技術革新を取り込む世界の優良企業を中心に長期的な目線で投資を続けてゆく計画です。皆様のご愛顧をよろしくお願いいたします。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

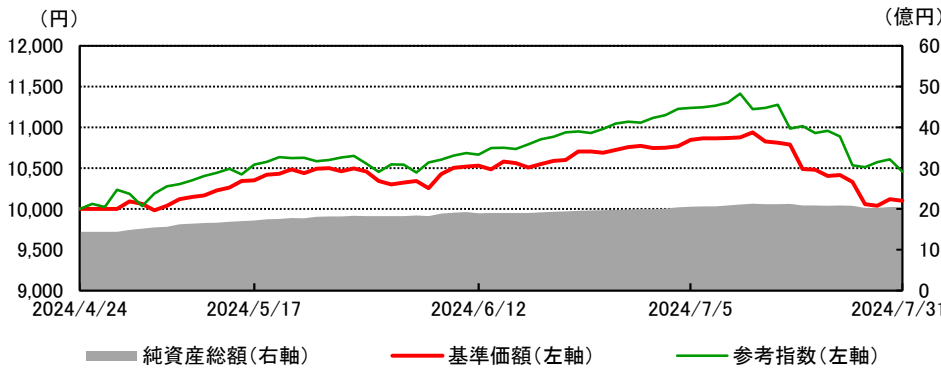
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
ホームページ: <https://nakano-am.co.jp/>



ハイテク関連の銘柄を中心に株価が下落した影響を受けました。トランプ氏が政権の座に就いたときに、中国製品に対して大幅な関税を掛ける可能性を示唆していることも一因です。米国の大統領選挙までは次期政権の政策に対する懸念が持続する可能性があると思いますが、技術革新は様々な分野で続いており、強い企業がさらに強くなるトレンドは不変で優良企業に対する厳選投資を続けます。

● 基準価額及び純資産総額の推移 (2024年7月末現在)



基準価額	10,099円
純資産総額	20億円

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。
 ※ 参考指数は「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み・ドルベース) をもとに、委託会社で円換算しています。
 ※ 純資産総額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

● 騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	-6.1%	1.0%	-	-	-	-	1.0%
参考指数	-5.5%	2.2%	-	-	-	-	4.6%

※ 基準価額の騰落率は、分配金 (税引前) を再投資したものと計算しています。

● 資産の組入比率

なかの世界成長マザーファンド	97.7%
現金等	2.3%
合計	100.0%

● 分配金実績 (一万口当たり、税引前)

決算期	分配金	設定来合計
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

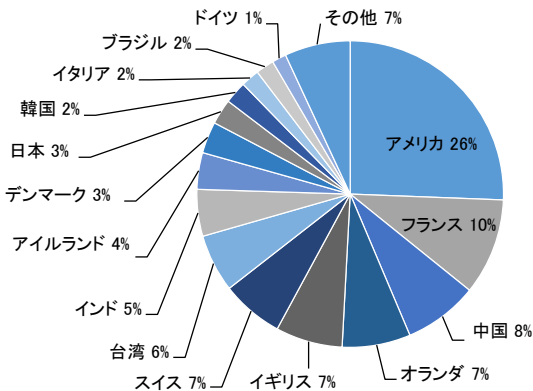
※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われな場合があります。

● 基準価額の変動要因 (前月末比)

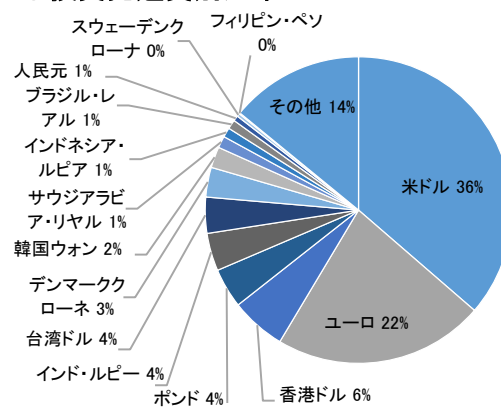
基準価額の変動額	金額
ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インバクト・エクイティ・ファンド (クラスS、円建て)	-660円
コムジェスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定)	-40円
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)	-224円
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド (適格機関投資家専用)	-210円
アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ	-187円
信託報酬・その他	1円

※ 上記はあくまで概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ※ 項目ごとに円未満は四捨五入しており、合計が基準価額の変動と一致しない場合があります。

● 国・地域別株式比率



● 投資先通貨別比率



※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率」は2024年6月28日のデータをもとに7月31日現在の投資ウェイトで当社が計算しております。
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



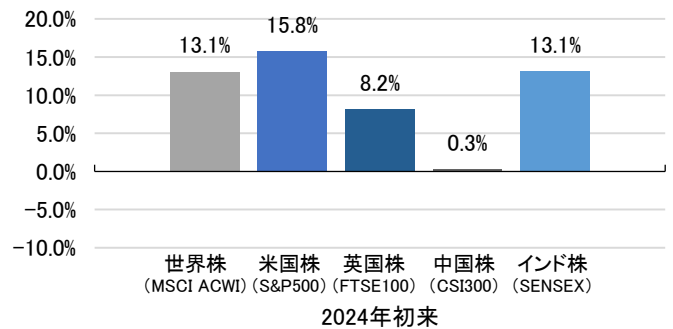
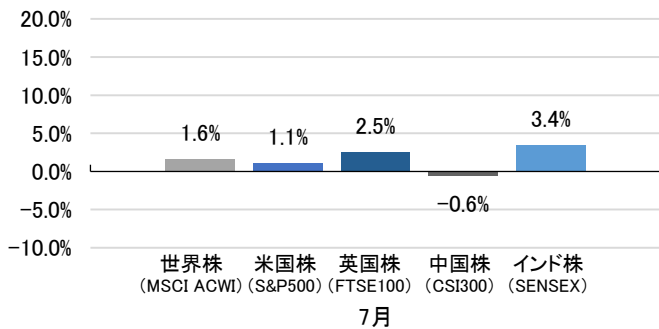
●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

	銘柄名	運用会社	組入比率
		ファンド概要	
1	コムジェスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社	35.2%
		世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。	
2	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社	29.3%
		主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。	
3	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	23.9%
		新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。	
4	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド (クラスS、円建て)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	11.5%
		主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。	
	現金等		0.1%

ファンドとの対話を続け、ファンドの入れ替え、ウェイトの調整などを行ってまいります。

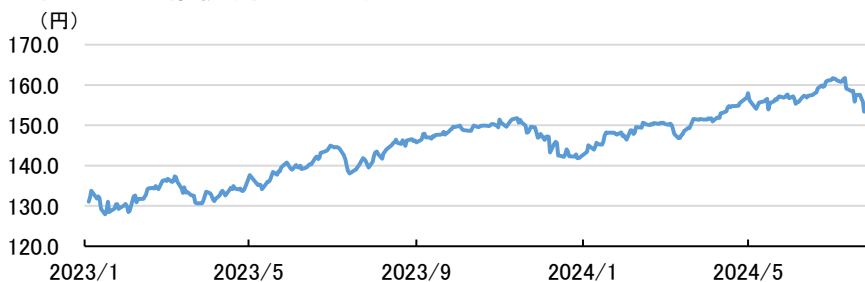
<ご参考>

●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●各ファンドの組入上位5銘柄

コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	イーライリリー	アメリカ	ヘルスケア	8.1%	3.7%
2	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	7.5%	6.1%
3	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	6.3%	10.0%
4	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	5.1%	23.3%
5	インテュイット	アメリカ	情報技術	4.2%	5.4%

コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	9.2%	1.6%
2	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	9.2%	10.0%
3	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	4.9%	7.5%
4	リンデ	イギリス	素材	4.2%	2.8%
5	アルコン	スイス	ヘルスケア	3.9%	20.1%

アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	8.7%	23.3%
2	テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	5.8%	5.2%
3	サムスン電子	韓国	情報技術	5.8%	10.0%
4	HDFC銀行	インド	金融	4.2%	7.7%
5	SKハイニックス	韓国	情報技術	3.8%	11.9%

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

No.	銘柄名	国	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品	3.3%	3.7%
2	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	2.8%	10.0%
3	LINDE PLC	アメリカ	化学	2.8%	2.8%
4	ROPER TECHNOLOGIES INC	アメリカ	コングロマリット	2.7%	6.0%
5	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	2.3%	19.5%

※ 上記はデータが入手できる2024年6月28日現在の情報です。

※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

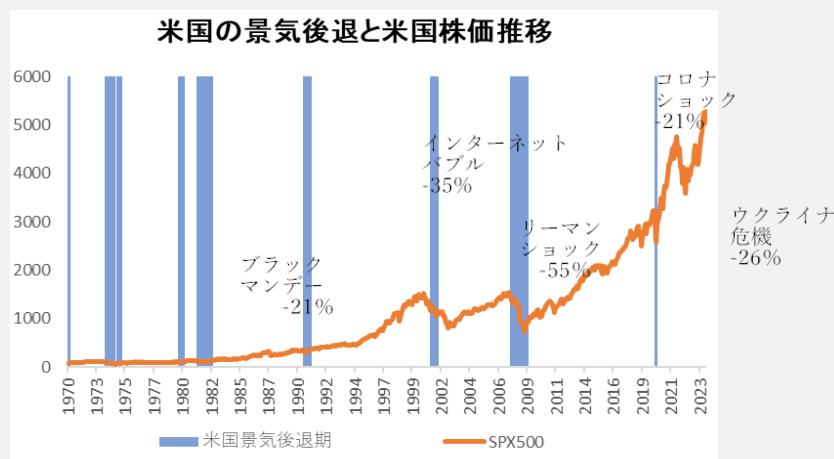


～コラム～

下がるまで待つ投資スタンスは正解か？

長期的には世界の主要株価指数は上昇トレンドを描いています。時として株式市場は大きく下落します。アメリカ市場を例にとれば、最近ではコロナショックで-21%、ウクライナ危機で-26%、リーマンショックの時には-55%など予想をはるかに超える突然の下落の記憶は強く残っています。そのため、出来れば下落局面で株を買いたいと思うのは、投資家として自然な考え方ではあります。とは言え、この考え方には二つの問題点があります。

第一に、歴史的に見て20%を超える下落が起きるまでには、株価はそれ以上に上がっていることが多く、下落局面を待っている事がコストになってしまう可能性が高いということです。第二に、実際に下落局面に直面しても、コロナ禍やウクライナ危機などの予測のつかない事態では買いに入ると判断するのが難しいということです。投資視点を長く持ち辛抱することは時として簡単なことではありませんが、最終的には報われると考えています。(居林 通)



Q&A(お客様からよくいただく質問)

Q1) なかの世界成長ファンドは何故アメリカ株式市場の比率が少ないのですか？

A1) 確かに世界の時価総額ウエイトで見ると米国株式市場は60%を超える比率を占めます。そのため、典型的な世界株式のインデックスファンドは米国のウエイトが高くなります。しかし、「企業規模の大小よりもその企業の競争優位性が高いかどうかの方が重要」だと当ファンドは考えます。優良な企業は世界中に存在しており、特にインドやインドネシアの今後の成長から恩恵を受ける企業は長期投資に値すると考えているためにアメリカ以外の国の投資ウエイトが大きくなっています。

Q2) 今後もなかの世界成長ファンドが組入れるファンドの数を増やす予定ですか？

A2) はい。現在は4つのファンドを組み入れることで世界に分散した厳選企業への投資を行っていますが、将来的にはあと2-3のファンドを組み入れることを計画しています。なかの世界成長ファンドはアクティブファンドなので、状況の変化に合わせて組み入れるファンドを変更したりウエイトを変更したりすることも行います。

Q3) 企業から直接話を聞くのは難しいと思いますが、どのようにして投資をするのかどうかを決めているのですか？

A3) 私たちの運用プロセスで重視しているのは次の二点です。第一に、世界中にリサーチチームを持っているファンドとの対話です。なかの世界成長ファンドは他の会社のファンドを組み入れるFund of Funds(FoF)方式を採用しています。世界中にリサーチチームを持つ3つの会社と連絡を取り合い、どのような考え方で銘柄を組み入れているのかなどについて意思疎通を行っております。

第二に、買っている上位銘柄についての独自の調査です。私たち自身も海外の会社の決算説明会を見ながら、本当に現在投資しているファンドを買っていいのかを検討しております。このようにして、厳選した海外企業に投資を行っております。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。






●運用チームから

氏名	役職	【お題】座右の銘は？
	代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO)	<p>「不撓不屈」 「長期投資で生活者と社会の幸せに貢献する」という当社のパーパスと通底する、なかのアセットメンバーの行動精神でもあります。日和見でエモーショナルなマーケットの値動きに決して翻弄されず、逆境下にあっても自らのスタイルを守り、忍耐強く豊かな将来への想いと意志を貫く本格長期投資の真骨頂を表す運用哲学でもありましょう。自身の矜持としても大切にしている言葉です。</p>
中野 晴啓		
	運用部長 兼 チーフポートフォリオ オマネジャー	<p>座右の銘は、「智・仁・勇」(ち・じん・ゆう)です。何が正しいかを判断する知恵「智」、相手の立場になって物事を考える慈愛の心「仁」、恐怖や不安を乗り越える勇気「勇」、この智・仁・勇が渾然一体となった生き方を理想としています。日常では、自然農法を中心に玄米採食を基本に食生活を律しています。規律正しい生活を心掛けることで、常にベストコンディションを保つ努力をしています。仕事に誠実に向き合い、自ら基準の高い生き方を示し、会社におけるリーダーシップを発揮していきたいと思えます。絶えず、正直な運用者でありたいと考えます。日本で一番、正直な運用会社として、多くの方々に愛される、なかのアセットにしていけるように精一杯、頑張ります。</p>
山本 潤		
	運用副部長 兼 シニアポートフォリオ オマネジャー	<p>「企業は経営陣で変わる」が私の座右の銘です。数多くの銘柄の中から、これだと思うものを選ぶには、確信度を抱かせてくれる経営陣が必要です。ここには、数字だけではない会社経営に対する信念が必要ですし、投資家としてはそれを理解することは重要だと思います。</p>
居林 通		
	シニアポートフォリオ オマネジャー 兼 シニアアナリスト	<p>神よ、わたしをあなたの平和の道具としてください。 憎しみのある所に愛を。争いのある所に許しを。 分かれている所はひとつに。あやまりのある所に真理を。 疑いのある所に信仰を。絶望のある所に希望を。 悲しみのある所に喜びを。闇には光をもたらすために神よ私に望ませてください。 慰められるよりも慰めることを、理解されるより理解することを、愛されるよりも愛することを。 自分を与えて与えられ、すすんで許して許され、人のために死んでこそ永遠に生きるのだから。 ずっと12世紀の聖人フランシスコの祈りだと思っていたのですが、実際はフランシスコの精神にそってそう呼ぶということ、今回初めて知りました。</p>
菅 淑郎		
	ポートフォリオオマネジャー 兼 シニアアナリスト	<p>「座右の銘」というほど大層なものはありませんが、私はマンガが好きなので…辛いとき、頑張りたいときは、あるマンガのセリフで出てきた「積み重ねによって起こる必然」という言葉を思い返しています。日々の努力を積み重ねることで、いつの間にか見えている景色が変わる。そんな瞬間に達成感と充実感を覚えます。もちろん、日々の努力を積み重ねることは容易なことではありませんが、それが好きなことなら苦にはなりません。私にとって、株式投資はそんな存在であり、四六時中考えているため、「創造性の4B」と言われるバスルーム、ベッド、バス、バーで何か閃くことが多いです。(バーはあまり行きませんが…)世の中で流行っているタイパ重視とはほど遠いですが(笑)これからは愚直に積み重ねてまいります。</p>
佐藤 栄二		

次のページへ続く→



●運用チームから

氏名	役職	【お題】座右の銘は？
	シニアアナリスト	"Vincere Non È Importante È L'Unica Cosa che Conta" イタリアのサッカークラブJuventusの元会長Giampiero Boniperti氏の言葉です。英語で"Winning is not important, it's the only thing that matters"と表現した方がしっくりくる気がしますが、日本語にすると「勝つこと以上に重要なことはない」といったところでしょうか。Juventusは魅せるサッカーよりも泥臭く勝つサッカーを志向しており、チームのDNAとしてもこの価値観が受け継がれています。個人的には勝負の世界で成果にこだわり続ける難しさを日々感じています。何故なら多くの場合強力な競合がいたり、運にも左右され思うような結果が出ないことが多々あるからです。マーケットの荒波の中でくじけそうになった時はこの言葉を思い出し、結果を出すために手を尽くそうと自分を奮い立たせています。
大月 天道		
	アナリスト	みなさま、いつもありがとうございます。私は正直であること、シンプルに考えることを心掛けて生きています。以前の私は人生の困難に直面した際、壁を乗り越えるためにあらゆる手段を検討し、最も体裁の良いものを選んでいました。しかし時間が経つにつれ、そのどれもが激しい後悔をもたらすことに気づきました。自己実現や本当に欲しいものを得るために日々懸命に生きているのに、困難に遭遇すると途端に、本心ではない上、真の目標から乖離した「マシな選択」をしてしまっていたのです。後悔が長引くにつれて、自分自身に嘘をつくことは、私や私を応援してくれる人の思いまで無碍にしてしまうと気が付きました。そして妥協するのではなく、自分が本当に欲しいもの・叶えたい目標だけを見据えて行動することが重要だと学びました。運用においても、シンプルにお客様の利益だけを考え、邁進したいと思います。(座右の銘はありません)
谷 亜矢野		
	アナリスト	私が幼少期に住んでいた島根県は、戦国時代に山陰山陽11か国を統べた尼子(あまご)氏の本拠地でした。この大名はやがて新興の毛利氏のために滅亡するのですが、衰退期に生まれ活躍した武将・山中鹿之助という家臣は、煌煌と輝く星空と三日月に手を合わせ、「願わくば我に七難八苦を与えたまえ」と祈りつつ、主家の悲運を一手に引き受けます。何度も尼子家再興を試みた彼は、そのあまりの脅威ゆえに、毛利家の手の者による騙し討ちに遭い命を落とした(享年34歳)と伝わります。上京して以来、街の明るさのために夜空の星は望めないものの、月を目にするたび「彼は七難八苦だったので私も二難三苦くらいであれば……」と、子供時分の憧れを忘れないよう反省しています。目標達成には必ず困難が付き纏いますが、喜んで引き受ける生き方もまた人生の真実でしょう。私の座右の銘です。
関口 耕大		

今回の運用チームコメントでは【あなたの座右の銘は？】をテーマにコメントを作りました。それぞれ個性あふれるコメントでいっぱいですが、なかのアセット運用部はお客様のためにチーム一丸となり活動しています。今後も100%お客様のため、基準を高く持ち、まとまりのある良いチームを目指し続けます。また、今回は次のページから運用部以外のメンバー紹介もしています。ぜひご覧になってください。(秋元 祐毅)

follow me!

各公式SNSで情報を発信しています！



YouTube no+e





●なかのアセットを支えるメンバーのご紹介です！

氏名	役職もしくは所属 血液型	コメント
 津田 由理子	広報企画室長	みなさま、こんにちは。広報担当の津田です(前職で、セミナーなどでお目にかかった方はお久しぶりです!)。なかのアセットの2本のファンドが4月に離陸して3か月になります。おかげさまで様々なメディアにとりあげていただき、またこのマンスリーレポートも各銘柄についてPM視点で毎月コメントし、全銘柄(23社)を開示することが高く評価されています。レポートでは他にも投資先企業価値の深堀レポートやエンゲージメント事例を発信しています。またセミナーなどでもみなさまとの交流を積極的に行い、直販的価値を引き続き大切にしながらプロの運用をみなさまにお届けしてまいります。
	O型	
 福田 隆	マーケティング部 部長	「ときめくか、ときめかないか」 わたしはなかのアセットが指向する佇まいに「ときめいた!」ので志望しました。 下記3つの「S」を大切に、いま誌面をお読みの皆さまと長期投資をご一緒させていただければと思います。 ・Spirit(真心込めてお伝えし) ・Sparkle(ときめいて!いただき) ・Sympathy(共感の輪を広げる) どうぞよろしく願いいたします!
	O型	
 田淵 英一郎	常勤監査役	7月から常勤監査役を務めています。資産運用業に1978年から従事して46年目になりました。企業アナリスト、運用担当者、運用会社・ファンド評価、運用会社代表取締役、上場前企業常勤監査役などを経験してきました。 なかのアセットマネジメントには、魅力とエネルギーと可能性を感じています。 「天の時、地の利、人の和」という言葉があります。資産運用立国という国家戦略が動き出したのが“天の時”。日本企業が資本効率と収益性と株価の割安さの是正に動き出したのが“地の利”。受益者の為に有益かつ共感できる投資プロダクトを提供する意義を感じて立ち上がった、ユニークなアクティブファンド運用会社「なかのアセットマネジメント」には“人の和”が満ちています。これからの成長・発展・拡大をしっかりと見守り、サポートして参ります。
	何型でしょうと尋ねて最初に言われませんがA型です	
 房前 督明	なかのアセット ご意見番	世の金融業界を少しでも変えようとの思いで仕事を始めて、はや20年余が過ぎました。長期投資の長い道のりと同様にいまだ途半ばの感でおります。 まへのプロジェクトで果たせなかった、真に顧客本位の業務を行う会社の実現に向けて、なかのアセットマネジメントがお客様からの信頼を獲得することができるように、微力ながらも尽力したいと思っております。 変わらぬご愛顧よろしくお願い申し上げます。
	A型	
 浅井 太郎	房前さんの丁稚	皆様はじめまして。 コンプライアンス部で房前の露払いを務めております浅井です。 本邦の資産運用において、長期、積立、分散の3原則を普遍化したいという中野の熱い思いに惹かれ、微力ながらも貢献したいとの思いを持ち参画いたしました。 小中高の娘3人が大人になる頃には、長期、積立、分散での資産運用が当たり前になっていることを想像しながら、日々積み上げていきたいと考えています。 ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
	B型	

次のページへ続く→



●なかのアセットを支えるメンバーのご紹介です！

氏名	役職もしくは所属 血液型	コメント
 西生 智久	CRM	こんにちは。投資信託業界に携わり38年が経ちました。バブル経済の経験とその崩壊、さらに「失われた30年」と呼ばれた困難な時代を乗り越えてきました。これまでの貴重な経験を活かし、今、新たな挑戦に取り組む決意をしています。まだまだ小さい存在ですが、皆さまからの大きな声援と支援に感謝しつつ、これからも皆さまの信頼される存在として、確かな成果を提供し続けることを目指し、より一層頑張ります！
	O型	
 荒川 孝希	管理部 部長	皆さま、初めまして。管理部の荒川です。 私は長期投資を広めていく上で最も大切なのは「信頼できる金融機関」が存在することだと考えています。それは確固たる運用哲学、何かあったときに相談に乗れる窓口があること、そしてお客様の利益を最優先にすることが当たり前であるという社風を醸成し続けている金融機関のことです。 私は入社するにあたり、直接代表の中野さんと話したく、セミナーが開催される広島へ東京から駆け付けました。その時に中野さんが語った長期投資や新運用会社設立への熱い想いに共感し、ともに理想の運用会社を創りたく、なかのアセットにジョインしました。まだスタートしたばかり、やるべき事は山積みですが一つ一つクリアして実現したいと思います。 今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
	気配りのA型	
 星野 茂	管理部	仕事とは、し4+ご5=<9ではなく、し4+ご5=と10であると思います。9から10へ付加価値の「1」をプラスすることで相手の気持ちを豊かにすることでであると考えます。その豊かさを分かち合うことができれば、仕事を通じて心が満たされます。しかしながら、仕事には終わりが設定されていて強制的に労働市場から退場させられてしまいます。働きたいと思っても働くことができなくなる時が来るのです。そんなときに自分ができることを探せば投資することが見つかりました。投資先の企業が成長し、そこで働く人達が満足して仕事ができれば、豊かさを分かち合える人達は自分自身が仕事をする時よりもさらに広がります。そして投資は永遠に続けられます。私たちの会社が豊かな社会になる一助になればと思っています。
	O型	
 堀井 廣人	管理部 情報システム統括	はじめまして。システム担当の堀井と申します。役職員ひとりひとりが快適に働けるよう、社内のIT環境の整備や維持を主に担当しています。それ以外にも様々な事をやっていますので、基本は何でも屋です。従前より当社代表の中野に感銘を受け、「たくさんの人に良質な投資信託による資産運用の大切さを知ってもらいたい」という思いを持っており、当社を志望しました。 普段は直接みなさまとお目にかかることはありませんが、いつかお会いできることを心待ちにしております。よろしくお願いいたします！
	O型	
 秋元 祐毅	マーケティング部	皆さまはじめまして！マーケティング部の秋元です！ 普段はなかのアセットのセミナー企画や、SNSの更新等を行っています！ 当社の事をより身近に感じていただき、当社の目指すものに皆さまから共感を得られるようにする事が目標です！ 投資を通じて将来子どもにより良い社会を残したい。そんな仕事に携われると思って志望しました。 山梨県から単身赴任して働いていますので、週末は山梨にいます。 みなさまどうぞよろしくお願い致します！
	A型	



●7月14日マンスリー運用報告会の様子



7月14日(日)マンスリー運用報告会を行いました！

毎月開催している運用部によるマンスリー運用報告会ですが、今回も満員御礼でした！

各ファンドマネージャーの話の後、質疑応答タイムでは会場にいらした多くのお客様からご質問をいただき、ひとつひとつ丁寧に答えました。

次回は8月25日(日)10:00～12:00FinGateKAYABA(東京)で開催します！

その他8月、9月は東京の他に栃木、広島、沖縄などにもお邪魔しますので、お近くの方はぜひお越しください！（秋元 祐毅）



セミナー情報はコチラ♪⇒

～ベンチマークを置かない理由～

当ファンドはMSCIオールカントリーワールドインデックスを参考指標としています。しかしながら、MSCIの株価指数はあくまで参考指標に過ぎず、当ファンドは、そもそもベンチマークを置きません。当ファンドの目指す目標は、数年後の純資産価額の倍増です。わたしたちのベンチマークは現在のポートフォリオの企業価値に対する将来のポートフォリオの企業価値なのです。当ファンドはベンチマークとの相対的評価ではなく、現在の企業価値に対する将来の企業価値という絶対的な評価を重視しています。

さて、なかの資産の社員も、他者との相対的な評価に惑わされることなく、絶えずベストコンディションを保ち、基準高く仕事をしていくことで、明日の自分が今日の自分を超えていくことを目指しています。わたしたちはよい方向に変われます。そして、ひとりひとりがそうあれば、社会を全体としてよりよい方向へと変えていくこともできるでしょう。そうであるならば、ベンチマークは、相対的なものではなく絶対的なものであるべきです。

そういう理由で、わたしたちは、あえてベンチマークを置かないという決断を下しました。アクティブ運用である以上、絶対リターンで顧客に報いたいと思います。わたしたちがしっかりと運用すれば、インデックスは意識せずとも長期的には凌駕していくと考えています。参考指標としてのMSCIと基準価額の推移のグラフは、マンスリーに載せてはいますが、わたしたちの目標は、1万円からスタートした当ファンドの基準価額をなるべく多くの年数をかけないで2万円台、3万円台へと着実に乗せていくことにあります。（山本 潤）



●ファンドの目的・特色

ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

●投資リスク

基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

● 手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none">純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none">公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除の適用はありません。益金不算入制度は適用されません。



ファンドの費用・税金

●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 年率0.605%(税抜0.55%) を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
	投資対象ファンド	年率0.4%~0.9%程度(税抜) ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。
	実質的な負担	年率1.3%±0.2%程度(税込) ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者	なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページアドレス： https://nakano-am.co.jp/
受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者	野村信託銀行株式会社

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号	○		○	

●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。